

# やまちゅうスクエア

吹田市立山田中学校 学校だより 令和6年度 第11号

## 「失敗は新たな一歩」

校長 小早川 靖樹

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る。」と言われますが、時間が経つのは早いですね。年齢を重ねるごとに時間の流れが早くなっているような気がします。フランスの哲学者ジャネは「生涯のある時期における時間の心理的長さは年齢に反比例する」という法則を19世紀に考案しました。10歳の子どもの1年は10年間のうちの1年(1/10)です。一方、60歳の1年は60年間のうちの1年(1/60)となります。10歳の1年に比べて、60歳の1年は「6倍速く感じる」というものです。「2月は短いなあ〜…」と毎年のように思いますが、みなさんとは時間の感覚に大きな差があるから当たり前ですね。

この時期になると、音楽室からきれいな歌声が聞こえてきます。この歌を聴いていると、「3年生ももうすぐ卒業だな…」と寂しく思います。この3年間いろいろなことがあったと思います。卒業式は大きな人生の節目です。お世話になった方々への感謝の気持ち、そして新たなステージへと向かう決意を胸に抱いて、式に臨んでほしいと思います。立派に成長した3年生の姿を楽しみにしています。

3月はまとめの時期、そして次の学年への準備期間です。この1年で自分が成長したこと、あまり成長できなかったことを振り返ってほしいと思います。中には「失敗ばかりして、あまり成長できなかった…」という人もいるかもしれません。失敗ばかりしていると落ち込みますよね。でも、あの発明王で有名な、トーマス・エジソンは次のような名言を残しています。

「私は決して失望などしない。なぜなら、どんな失敗も新たな一歩となるからだ。」

人生ではすべてのことが思った通りにうまくいくことはありません。しかし、少しでもうまくいくと、それがとても嬉しく自信に繋がっていきます。そのことを励みにして、うまくいかなかったことにもう一度挑戦したり、やり方を変えて努力し続けたりすることで、また道が開けてきます。

みなさんには、これから多くの困難なことやいろいろな課題が待ち受けています。その壁から逃げずに乗り越える苦勞を受け入れてください。無難な道を選ぶことも時には必要かもしれませんが、少し苦勞の多い方を敢えて選ぶことが、自分の成長に繋がっていくと思います。勇気を出して頑張りましょう。

保護者の皆様、地域の皆様へ

今年度最後の学校だよりとなりました。令和6年度の教育活動に、保護者の皆様、地域の皆様にはご支援、ご協力をいただきましたことを心より感謝いたします。ありがとうございました。新年度も生徒たち一人ひとりが「明日も学校に行きたい!」と思えるような山田中学校をめざしていきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

<山田中学校ブロック(山田中、山五小、南山田小)のめざす子ども像>

1 あいさつのできる子 2 最後までやりとげる子 3 自分の思いを伝えられる子



2月3日(月)からの3週間、生活委員会の生徒が朝の挨拶運動を行いました。毎日寒い朝でしたが、生活委員のみなさん、さわやかに元気な挨拶をありがとうございました。



### 『山中生のいいところ』

1年生も2年生も真剣に話を聞いていました。百人一首も真剣に取り組んでいました。

3学期、1年生は進路学習(写真左)と職業講話、2年生は代議員が企画した学年集会(写真右)と百人一首大会(写真下)を行いました。



### 『3年生のみなさん 卒業おめでとうございます』

3月7日(金)から、卒業式に向けての練習が始まりました。上にも書いたように、『山中生のいいところ』は何事にも真剣に取り組めることを、3年生はこの一年間でたくさん見せてくれました。残念ながら卒業式当日は、1年生は参加できませんが、中学校課程最後の行事として、卒業生の成長した姿を後輩に託して行ってほしいと願います。